

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

1. 事業の成果

私たちが「移動サービス」という介護付送迎サービスを始めてから 18 年目となりました。

介護保険に「移動サービス」というメニューがない中で、外出することでいつまでもその人らしく元気に暮らせる、という思いでスタートしました。その後は障害児・者の皆さんとの出会いから横浜市の制度に参入することとなり、今では利用会員のうち高齢者の占める割合は 2 割弱となっています。

制度スタート時から参入している横浜市地域生活支援サービス「通学通所支援」も今年で 6 年目となり、現在では利用会員の 2/3 がこの制度を利用しています。新年度を迎える前には、新規のお問い合わせも多くいただきますが、支援の時間帯が重なるため、すべてのご要望にはお応えできない状況が続いています。

「通学通所支援」制度における車を使った乗降介助は 1 回 100 単位と単価が低く、また、車両を使用するため道路運送法上の福祉有償運送事業者登録も必要となるため、実際にこの制度で活動している事業所が非常に少ない現状にあります。2018 年度から、報酬単価が 10 から 10.96 に引き上げられましたが、潜在的ニーズはまだまだ多いと見込まれるので状況の改善が待たれます。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内 容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして
「車による送迎」と「介助」で外出支援

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名）

介護福祉士 1 名、ヘルパー 2 級 3 名、初任者研修修了者 1 名、知的障害者ガイドヘルパー 10 名

受益対象者：3 月末現在利用会員（33 名）延べ実利用人数：370 人（月平均 30.8 人）

活 動 件数：3,253 件（前年比 99%） 3,422 トリップ（前年比 95%）

目的別内訳：通 院	71 トリップ（前年比 85%）
通学・通所（自費）	257 トリップ（前年比 30%）
（ガイドヘルプ事業利用）	2,699 トリップ（前年比 113%）
合 計	3,027 トリップ（前年比 104%）
そ の 他（教会・スイミングなどお楽しみ）	395 トリップ（前年比 78%）

活 動 時 間：1,728 時間（前年比 99%）

支 出 額：3,130,533 円（前年比 106%）

II. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称 障害者総合支援法）に基づく移動支援事業

内 容：「養護学校・個別支援級」と「自宅・放課後等児童デイサービス等」、「自宅」と「作業所・地域活動ホーム等」間を『通学通所支援制度』を使って車で送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14名）

受益対象者：利用会員のうち制度契約者数 22名

活 動 件数：2,670件（前年比 112%）

・通学：438件（前年比 121%）

・通所：2,232件（前年比 110%）

支 出 額：2,425,740円（前年比 111%）

III. 「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内 容：「個別支援級への通学」「放課後等児童デイ・作業所への通所」「視覚障害者の外出サポート等のための、「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：コーディネート 1名

ボランティア：20名

受益対象者：支援対象登録者 10名

活 動 回 数：695件（前年比 69%）

支 出 額：235,916円（前年比 26%）

IV. デイサービス施設の送迎受託事業

実施できませんでした。

V. 生活の質を高めるためのお出かけプラン提供事業

利用会員が変化し平日は通学や通所されている方がほとんどなので実施できませんでした。

VI. 知識・技術の向上に関する共育・研修事業

内 容：「横浜市ガイドボランティア制度の普及」および「ボランティア参加者の拡大」のための研修会の開催

日 時：

場 所：青葉区・都筑区

従事者人員：延べ 10名

受益対象者：参加者 27名

支 出 額：120,053円